



港の総合学習支援を行いました

9月8日（金）に金沢市立大野町小学校の児童（4年生：21名）を対象に港の総合学習支援を行いました。

当日は港湾業務艇「わかなⅡ」に乗船しての港内見学と「みなと」の役割や施設の重要性に関する座学を行いました。

港内見学では、石油埠頭の巨大なタンク、御供田埠頭のガントリークレーンの荷役、海底の土砂をすくい取る浚渫（しゅんせつ）船など、普段見ることのできない船上からの景色等を眺めることが出来ました。

また、今回は地元マスコミ（テレビ局1社、新聞社2社）からの取材も行われ、記者からのインタビューで「港の仕事はいろいろな人に支えられていることがわかった」、「港で働く人々やいろんな施設を見ることができた」など感想を述べる児童がいるなど、「みなと」の役割の重要性についてより理解してもらえたと感じました。



船内の様子



座学の様子



ガントリークレーンを見上げる様子